NIE実践報告

1．タイトル：新聞の経済面を読み、新製品開発の糸口を探る

2．学校名

北海道滝川西高等学校

3．実践者名（代表者名）

高橋　彰

4．学年

第3学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

マーケティング　24人

6．単元（本時の学習課題）名

新聞を使った情報収集

7．目標（狙い）

新聞に掲載される最新の新製品に関する記事を読み、商品の特徴やネーミングから独自の商品開発を試みる。また、商品の新たな用途を探る。新聞の経済面に興味を持たせ、常に新聞から情報を得る習慣を付けさせる。

8．評価の視点

新聞の経済面を読み、記者が最も力を入れている文節にアンダーラインを引いているか。商品の特徴を読み取れているか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

新聞を使った情報収集(マーケティング)　3時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

(1)新聞の経済面に最新の経済情報が掲載されていることを実感させる。 (1時間)
(2)新商品の特徴やネーミングに意識し、今後の新用途を探る。 (1時間)
(3)最新の商品情報を読み、自ら新商品のアイデアを出す。 (1時間)

(留意点)
・新聞の経済面には最新の経済状況や新商品に関する記事が掲載されていることを認識させ、テレビなどの動画による情報と活字による情報の違いを認識させる。
・新商品の記事を読む上で、記者が一番読者に伝えたい文節にアンダーラインを引かせる。
・新商品のアイデアとインパクトのあるネーミングを考えさせる。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

新聞に目を通す機会の少ない生徒が多い中、今回の取り組みにより生徒が想像していた以上に最新の情報が経済面に掲載されていることに驚きを見せていた。

12．成果と課題

テレビ・新聞というメディアの違いにより、新製品に関する情報の捉え方の違いを実感することができ、あらためて新聞の利点や活字文化の大切さを認識できた。新商品を開発する上のアイデアを出すことができたが時数が少々足りないようであった。もう少し、時間を確保し余裕のある授業展開をしていきたい。